りん車のれんしゅう

一年　小俣　愛理

プレイタイムのとき、一りん車のれんしゅうをしました。ブロックにつかまりながらゆっくり、ころばないように、いったりきたりしてれんしゅうをしました。ブロックはみどりいろでかたくて、しかくで、あながあいています。つかまりやすいたかさです。大またで、先生と手をつないでこぎました。とおく、ブロックとブロックがはなれているところに一ぽぐらいのブロックが六こならんでいます。

そろりそろりゆっくりこぎました。おなかがまっしょうめんに見えました。

とこしのあたりがゆらゆらしました。大きなバランスボールにすわってボールがゆらゆらゆれるみたいでした。バランスがくずれて、もうこげない、もうだめだとおもって、足がとんとグラウンドにつきました。あたまがしんぱいになって、おっこちたら大けがする、

空を見てこぎます。とおくのたてながのとう

こわいな、とおもいました。足をやる気にさせて、がんばってあたまをきりかえました。こわいな、でもがんばるとおもいました。先生が3かい、パンパンパン、手をたたきました。プレイタイムおしまいです。つぎの日本ごのクラスがはじまります。

20 × 20